

平成29年度 継続被災地支援活動「福島県への継続文化支援活動」報告

【福島応援人形劇公演 Part1】

- 1) 日程 平成29年9月5日(火)～9月8日(金)
- 2) 場所 福島市・二本松市の幼稚園や保育園など13ヶ所にて人形劇公演を実施。
- 3) 参加劇団 人形劇団オセロ(2名)、シアターとんとん(2名)、人形劇団野良犬+Plus(4名)、劇場スタッフ(1名)
- 4) 公演記録

オセロ&シアターとんとん

月/日(曜)	開演時間	会場	公演プログラム	観客数
9/5(火)	15:30	蓬莱第二保育所 福島市蓬莱町2丁目1-1	テーブルシアター 「カメとカバ」 パネルシアター 「おおきなかぶ」 仕掛け紙芝居 「なめれおん」 人形劇「スイカ畑」	61名 (子53、 大人8)
9/6(水)	10:30	福島東こども園 福島市鎌田沢田39-1	テーブルシアター 「カメとカバ」 パネルシアター 「誰のせんたくもの」	52名 (子47、 大人5)
	16:00	ただいまあ余目学童クラブ 福島市下飯坂字黒木宮2-2	仕掛け紙芝居 「なめれおん」 人形劇「スイカ畑」	45名 (子40、 大人5)
9/7(木)	10:00	のびのび保育園 二本松市金色417番地2	仕掛け紙芝居 「なめれおん」 パネルシアター 「ポンポンポケット」 「おおきなかぶ」 人形劇「ばけくらべ」	65名 (子53、 大人12)
	16:00	どんぐりクラブ 二本松市竹田1-193	テーブルシアター 「カメとカバ」 パネルシアター 「誰のせんたくもの」	70名 (子65、 大人5)
9/8(金)	10:30	ふくしま南幼稚園 福島市杉妻町1-27	仕掛け紙芝居 「なめれおん」 人形劇「スイカ畑」	98名 (子33、 大人65)
	16:00	吉井田学童クラブ 福島市八木田字神明94-1	テーブルシアター 「カメとカバ」 パネルシアター 「誰のせんたくもの」 人形劇 「ばけくらべ」 「スイカ畑」	53名 (子46、 大人7)

## 人形劇団野良犬+Plus

月/日(曜)	開演時間	会場	公演プログラム	観客数
9/5(火)	15:10	敬香保育園 福島市腰浜町9-1	テーブルシアター 「三びきのくま」 人形劇 「おかあさんまだかな？」 パネルシアター 「ママのおけしょう」 背負子人形劇 「千匹オオカミ」	116名 (子110、 大人6)
9/6(水)	10:00	福島愛隣幼稚園 福島市荒井字弁天前28-3		176名 (子170、 大人6)
	15:30	福島市吉井田学習センター 福島市仁井田字下川原1-1		40名
9/7(木)	10:00	さくら保育園 福島市渡利字大豆塚7番地		105名 (子100、 大人5)
	15:30	福島郷野目こども園 福島市郷野目14		52名 (子45、 大人7)
9/8(金)	15:30	わいわいクラブ 伊達郡川俣町後田10-1		52名 (子47、 大人5)

### 5) 写真で見る公演及び調査記録 オセロ&シアターとんとん

#### ①蓬萊第二保育所



➤小さいクラスの子どもたちが人形劇を最後まで観れるかどうか先生が心配をされていたが、最後までじっくりと観てくれた。子どもたちがこんなに集中して観ることができるとは思わなかったと驚いていた。

#### ②福島東こども園



➤とても元気で反応が良い子どもたちで、驚くときには自分自身も飛びあがりながらびっくりしていた。一人一人驚いたときの反応が違うのがかわいらしかったと劇団の方たちも嬉しそうだった。  
➤上演の最後に子どもたちが人形と触れ合う時間があった。初めて触る人形に「固い」「何でできているの？」と興味津々の様子であった。

### ③ただいまあ余目学童クラブ



➤上演後はおやつの時間に参加させていただき、観劇後の子どもたちから感想を聞くことができた。高学年の子どもたちからも人形劇がとても楽しかったという声を聞くことができた。

### ④のびのび保育園



➤準備の段階から子どもたちが興味深そうにこちらを見ていた。先生から話を聞くと、毎日「あと何日寝たら人形劇だね」と教えてくれていたことを知り、子どもたちにとって待ち遠しい日になっていたことを嬉しく思う。  
➤0～3歳児が最後まで見ることができると心配をしていたが、最後まで舞台に釘付けになって見てくれていた。地域に住む親子も一般来館で訪れており、お家の人と一緒に人形劇を楽しんでもらうことができた。

### ⑤どんぐりクラブ



➤とても元気な子どもたちで、終始大盛り上がりだった。学童クラブの中で折り紙が流行っているということで、終演後に今回上演する演目にあわせた折り紙を使用したお礼のメッセージカードをいただいた。  
➤担当の先生からは、震災直後はたくさんあった支援活動も最近は減少しており、観劇できて本当に嬉しかったという声をいただいた。このような声を聞くと継続して活動をしていくことの意義を実感することができる。

### ⑥ふくしま南幼稚園



- 保護者参観日ということもあり、園児だけではなく保護者の方にも一緒に観劇していただけた。大人も子どもたちと一緒に、童心にかえって人形劇を楽しんでくれている様子であった。
- プレゼントであげた指人形を子どもたちが指にはめながら帰っていく様子を見て、人形劇を見て楽しかった思い出に加えて、家に帰ってから続く楽しい思い出になったのではないかと思う。

### ⑦吉井田学童クラブ



- 吉井田学童クラブへ来るのは2回目だという劇団さんもおり、前観た劇団と同じだということを心配していたが、子どもたちは楽しくて仕方がないというような様子で、どんどん前のめりになりながら、話しの進行を楽しそうに見ていた。最初は興味がなさそうにしていた子も、最後にはみんな舞台上に釘付けになっていた。

### 人形劇団野良犬+Plus

#### ①敬香保育園



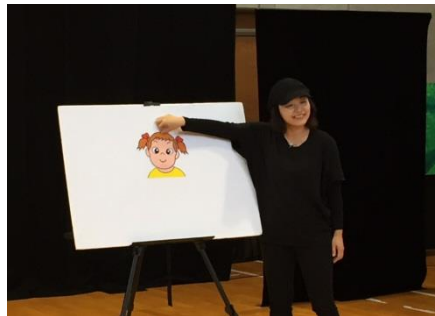
- 今回は札幌の大学生がボランティアとして人形劇公演のメンバーに参加し、若者の元気な人形劇に子どもたちも喜んでいました。
- かわいい歌がいっぱいの「三びきのくま」のお話を上演。後日、先生より子どもたちの様子を伝えるメッセージをいただいた。年長さんの男子二名がくまのおうちを作り遊び始めたこと、女の子たちが三びきのくまの歌を歌っていること、また1歳クラスの子がプレゼントした指人形を夜寝るまで抱いていた様子など、温かいエピソードをたくさん教えていただいた。楽しい思い出として子どもたちの心に残ってくれたことを嬉しく思う。

#### ②福島愛隣幼稚園



- 愛隣幼稚園と愛隣保育園の子どもたち170名が観劇。元気な子どもたちの笑い声と声援で賑やかな楽しい公演となった。終演後には、札幌のお母さんたちが子どもたちのために作ってくれた指人形をプレゼントした。

### ③福島市吉井田学習センター



- 乳幼児親子など40名が観劇。少人数ではあったがアットホームな雰囲気で行うことができた。センターの入口には演目にちなんだ絵本やマトリョーシカを飾るなど、職員の方が工夫をして告知をしてくれていた。
- 公演終了後には、舞台裏をのぞいたりパネルシアターの仕掛けについて質問をするなど、興味を持って人形劇を観てくれていたことがわかった。

### ④さくら保育園



- 広く開放的なスペースのある保育園で子どもたちが元気にのびのびと過ごしていた。先生と一緒に準備の様子を離れたところからずっと見ている小さな子どもたちがとてもかわいらしかった。

### ⑤福島郷野目こども園



- 新しくできたばかりのこども園だったため、人形劇公演を観たのは初めてという子どもたちも多くとても喜んでもらうことができた。これをきっかけに人形劇を好きになってもらえたら嬉しい。

### ⑥わいわいクラブ



- 高学年も多く元気な子どもたちが多かったが最後の人形劇ではみんな集中して楽しんでくれているようだった。公演終了後は短い時間であったが子どもたちと触れ合うこともできボランティアの学生も喜んでいました。

【地域交流事業①】

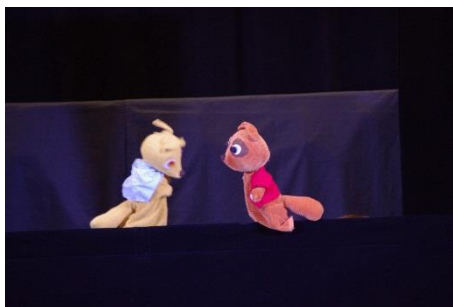
地域交流イベント『あそびの劇場ミニ』

～札幌のやまびこ座・こぐま座からあそびのキャラバン隊がやってくる～

- 1) 日程 平成29年9月9日(土) 10:30～14:30
- 2) 場所 じょーもぴあ宮畑(福島市岡島字宮田76)
- 3) 参加劇団 人形劇団オセロ(2名)、シアターとんとん(2名)、人形劇団野良犬+Plus(4名)、劇場スタッフ(1名)、札幌市児童会館スタッフ(4名)
- 4) イベント参加者数 延べ 211名

時間	プログラム内容	備考	参加者数
10:00 ～ 14:30	遊びのコーナー	工作会(えっちらおっちらあおむしくん)、昔あそび、木のおもちゃ、折り紙、お絵かき	70名
10:30	ステージ① 「人形劇団野良犬+Plus」	人形劇 「三びきのくま」 「おかあさんまだかな?」 「千匹オオカミ」 パネルシアター 「ママのおけしょう」	63名
13:30	ミニステージ② 「オセロ&シアターとんとん」	テーブルシアター 「カメとカバ」 パネルシアター 「誰のせんたくもの」 人形劇「ばけくらべ」 大型絵本「おめんです」 人形劇「スイカ畑」	78名

5) 写真で見る公演及び調査記録



- 午前と午後の人形劇公演がメインであったが、公演の合間や待ち時間に楽しめるミニ工作会や、遊びのコーナーを設けることで、施設に遊びに来ていた子どもたちも自然と参加してくれるなど賑わいをみせた。
- 土曜日だったこともあり、たくさんの親子が人形劇を楽しんでくれた。保育園などで人形劇を観た子どもがお母さん、お父さんと一緒に観にきてくれたり先生が子どもを連れて遊びに来てくれるなど嬉しい再会もあった。

【地域交流事業②】

地域交流イベント『あそびの劇場』

～札幌のやまびこ座・こぐま座からあそびのキャラバン隊がやってくる～ in 二本松市

- 1) 日程 平成29年9月10日(日) 10:00～14:30
- 2) 場所 二本松市市民交流センター(二本松市本町2丁目3-1)
- 3) 参加劇団 人形劇団オセロ(2名)、シアターとんとん(2名)、人形劇団野良犬+Plus(4名)、  
劇場スタッフ(1名)、札幌市児童会館スタッフ(4名)、二本松市現地スタッフ  
(7名 ※職員5名、ボランティア2名)
- 4) イベント参加者数 延べ 330名

時間	プログラム内容	備考	参加者数
10:00 ～ 14:30	遊びのコーナー	工作会(よちよち歩くマリオネット 工作、えっちらおっちらあおむしく ん、簡単たこづくり)、昔あそび、 木のおもちゃ、折り紙、お絵かき	181名
10:30	ミニステージ① 「人形劇団オセロ」	仕掛け紙芝居「なめれおん」 「おじさんのコート」 テーブルシアター 「カメとカバ」	65名
11:30	読み語りタイム	大型絵本、アンパンマン体操など	20名
12:30	ミニステージ② 「人形劇団野良犬+Plus」	人形劇 「三びきのくま」 「おかあさんまだかな?」	38名
14:00	ミニステージ③ 「シアターとんとん」	パネルシアター 「ポンポンポケット」 「誰のせんたくもの」 人形劇「スイカ畑」	26名

5) 写真で見る公演及び調査記録





- 昨年に引き続き二本松市市民交流センターでの開催となった。昨年も遊びに来てくれていた親子さんもいて、去年楽しかったので今年も楽しみにしていたという声が聞けて嬉しかった。
- 屋内と屋外が繋げることができる構造のため、工作コーナーで作った凧が大人気だった。紙1枚でできる凧を自分で作り、青空の下を元気に走り回る子どもたちの姿をたくさん見ることができた。
- 今回も現地のスタッフのみなさんにご協力をいただき、準備段階の会場設営から当日のコーナースタッフなど、全面的にバックアップをしていただいた。現地のスタッフの中には高校生ボランティアも参加しイベントを盛り上げてくれた。今後も地元の方と協働し楽しい企画を考えていきたい。



## 【人形浄瑠璃体験ワークショップ】

- 1) 日程 平成29年8月31日(木)～9月3日(日)  
 2) 場所 長期ワークショップ(全7回): 福島市子どもの夢を育む施設こむこむ、日和田公民館  
 その他、福島市内の小学校3校、郡山市内小学校2校にて短期体験ワークショップを実施  
 3) 参加劇団 八王子車人形西川古柳座(1名)、さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座(9名)  
 4) 実施記録

### ①短期体験

月/日(曜)	時間	会場	内容	参加者数
8/31(木)	13:50	日和田小学校 郡山市日和田町日向1-9	3・4・6年生対象/解説および三人遣い体験ワークショップ	220名 (子220)
	13:50	高倉小学校 郡山市日和田町高倉館腰25-3	全校生対象/解説および三人遣い体験ワークショップ	49名 (子49)
9/1(金)	9:20	渡利小学校 福島市渡利字八幡町120	5・6年生対象/解説および三人遣い体験ワークショップ	140名 (子140)
	13:55	三河台小学校 福島市三河南町17-7	6年生対象/解説および三人遣い体験ワークショップ	74名 (子74)
	14:15	清明小学校 福島市清明町9-31	3～6対象/解説および三人遣い体験ワークショップ	130名 (子130)

### ②長期体験/復活!高倉人形プロジェクト・人形浄瑠璃ワークショップ

月/日(曜)	時間	会場	内容	参加者数
9/2(土)	10:00	日和田公民館 郡山市日和田町字小堰23-4	こども対象 1回目 三人遣いワークショップ	15名 (子15)
	14:00		おとな対象 1回目 三人遣いワークショップ	20名 (子2、 大人18)

### ③長期体験/人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』

月/日(曜)	時間	会場	内容	参加者数
9/3(日)	13:30	福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ 福島市早稲町1番1号	『ふれアート』in ふくしま 1回目	12名 (子12)

## 7) 写真で見る公演及び調査記録

### ①日和田小学校



## ②高倉小学校



## ③渡利小学校



## ④三河台小学校



## ⑤清明小学校



- 長期ワークショップを開催する福島市、郡山市の小学校において、宣伝も兼ねたミニワークショップを開催した。人形浄瑠璃を知らない子どもたちがほとんどであることから、このように実際に見て、触れてもらう機会をつくるのが重要だと感じる。
- たくさん子どもたちに日本の伝統芸能に触れる機会を提供することで、その楽しさ、魅力に気づいてもらうことができる。

## 復活！高倉人形プロジェクト・人形浄瑠璃ワークショップ

①9/2（土）＜1回目＞



- 子どもの部では、小学校3年生から6年生までの15名が参加。事前に行った小学校でのミニワークショップで興味を持ってくれた子どもたちも多く参加してくれた。
- その昔、この地域で活動をしており現在は衰退してしまった人形浄瑠璃の歴史、残された貴重な文化財に着目をし、地域を盛り上げていこうというプロジェクト。子どもたちにもその魅力を伝え、「高倉人形」を復活させたいという地域の方の熱い想いが溢れている。



- 当初は子どもたちに向けたワークショップのみを計画していたが、継続した活動を行っていくためには子どもたちを支える地域の大人の力も不可欠となる。復活プロジェクトのメンバーを中心に、大人たちも初めての人形操作に奮闘している。

## 人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』inふくしま

①9/3（日）＜1回目＞



- 小学校3年生から中学1年生までの12名が参加。昨年度から継続して参加してくれている子どもも数名いて、初参加の子に人形の操作方法を教えるなど、一年で成長した子どもたちの姿を嬉しく思う。
- 今回は人形の基本的な操作方法を学び、ワークショップの最後には1日の成果発表を行った。これからどんどん成長していくであろう子どもたちの姿が楽しみである。

## 【川俣高校アウトリーチ活動】

川俣高校3年生の選択授業「子どもの発達と保育」の中で、人形劇を通した子どもとの関わりをテーマに人形劇の指導を行う。

- 1) 日 時        1回目・平成29年9月1日(金) 10:50~12:40  
                  2回目・平成29年9月8日(金) 10:50~12:40
- 2) 場 所        福島県立川俣高校(伊達郡川俣町飯坂字諏訪山1)
- 3) 指 導        矢吹英孝(やまびこ座館長)、指導補助:柳本景子(こぐま座館長)、安田晃子(やまびこ座)
- 4) 生徒数       9/1(金)6名、8(金)8名
- 5) 内 容        「どろぼう学校」を題材とした人形劇をつくり、最後には子どもたちの前で発表することを目標とする。1回目は、事前に生徒たちが描いたデザイン画を元に人形の首(かしら)の製作指導を行った。2回目は引き続き人形の製作と、台本の読み合わせを行った。

